

西三河都市計画学校の決定に係る 素案の説明会

令和5年8月19日（土）
14時～ 福祉会館6階ホール

岡崎市教育委員会事務局施設課

1 背景

(1) 小中学校の役割

小中学校は、学校教育を推進するうえで欠かせない施設であり、地域住民の避難所となっているほか、地域コミュニティの形成にとって重要な活動の場となっています。

(2) 小中学校施設の整備に関する上位計画の位置づけ

① 第7次岡崎市総合計画

暮らしを守る強靱な都市づくり（防災・強靱）では、「都市基盤の強靱化にあたっては、老朽化が進む公共施設等の更新周期を勘案し、合理的かつ効果的な対策を推進していく」としています。

② 岡崎市都市計画マスタープラン

本市の目指す都市像のひとつとして「住みやすい、住み続けられる都市」としています。その目標「暮らしやすさと豊かさを実感できる快適な居住環境の創造」において、「教育や文化などを生活の身近なところで利用できるよう都市機能の誘導を図り、住み続けられる都市を創造します。」と位置付けています。

また、全体構想における分野別都市づくり計画の防災分野では、「防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進」を掲げ、「災害発生時に被害を最小限に抑えるため、避難地として機能する学校を含めた都市基盤の強化を推進します。」と位置付けています。

1 背景

③ 岡崎市学校教育等推進計画

基本目標の1つとして「安全安心で先進的な教育環境は、学校教育の基盤となり、学校施設の計画的な改修や長寿命化を進める」とし、具体的な取組の重点事項として、学校施設の計画的な老朽化対策の推進について、「個別施設計画に基づき進め、長寿命化改修工事により、施設の安全性を確保するとともに、教育環境の質的向上を図る。」としています。

④ 岡崎市公共施設等総合管理計画

学校施設の今後の取組方針として、「将来的な規模の適正化を見据えた、計画的な長寿命化対策を実施する」としています。

2 都市計画学校

(1) 概要

市立の小学校 47校及び中学校 20校の計 67校のうち、立地適正化計画における居住誘導区域内にある小学校 29校及び中学校 12校の計 41校について、都市計画学校にすることを予定しています。

- ・立地適正化計画とは

将来の人口減少に備え、市民が引き続き快適な暮らしを継続することができる都市構造にし、生活サービス施設や住居などがまとまって立地するように、土地利用を誘導するために策定した計画。

- ・居住誘導区域とは

人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて、人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるべき区域として指定された区域。

2 都市計画学校

- ・都市計画決定とは

都市計画法に基づく手続きにより、「用途地域」のような土地利用に関するルールを定めたり、道路、公園、学校などの「都市施設」を都市計画として決定すること。

- ・都市施設とは

都市施設は円滑な都市活動を支え、都市生活者の利便性の向上、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設のこと。都市計画法第11条で「学校」は都市施設に定めることができると定められています。

- ・都市施設を都市計画決定すると、どうなるのか

都市施設が都市計画決定された場合は、将来の事業の円滑な施行を確保できます。

都市計画決定された都市施設を建設、改修する場合、都市計画事業の認可を受けることで、都市計画税を充てることができます。

2 都市計画学校

(2) 老朽化した都市インフラの計画的改修

高度経済成長期以降に整備された都市インフラの老朽化が急速に進行しており、計画的な改修、更新を進め、生活の安全性や利便性の維持・向上を図ることが求められるようになりました。

こうした背景の中、都市計画施設の改修事業について、立地適正化計画に基づく都市計画事業の認可みなし制度が創設されました。（令和2年6月 都市再生特別措置法の改正）

(3) 都市計画決定の必要性

学校施設は学校教育を推進する上で安全性確保や教育環境の質的向上を図るなど、継続的かつ適切に整備を進めていく施設です。

また、地域住民のコミュニティ形成としての役割も担っており、将来にわたって必要性の高い都市施設です。

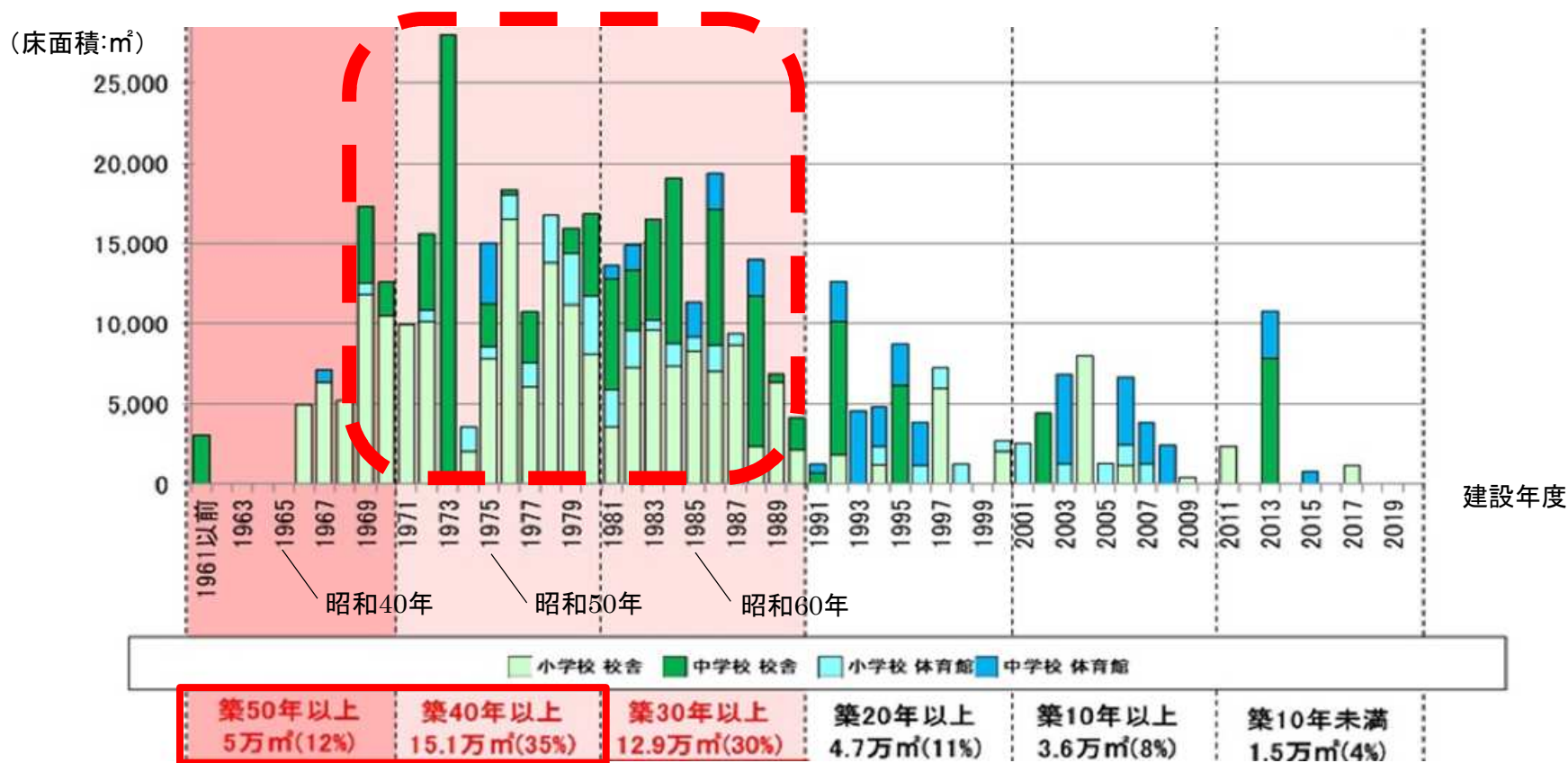
特に、居住誘導区域内の学校施設においては、緩やかに住民の居住を誘導し、持続可能な都市経営を推進する立地適正化計画の観点からも、将来にわたり維持していく必要があります。

以上のことから、居住誘導区域内の市立小中学校について、都市計画決定を予定しています。

3 学校施設の現状

(1) 施設の築年数別整備状況

本市の小中学校施設は、昭和40年代半ばから約20年間で集中的に整備されています。築40年以上経過した建物は47%（令和2年度時点）と老朽化が進み、全体の半数近くの建物が老朽化対策のための大規模な改修工事の時期を迎えています。



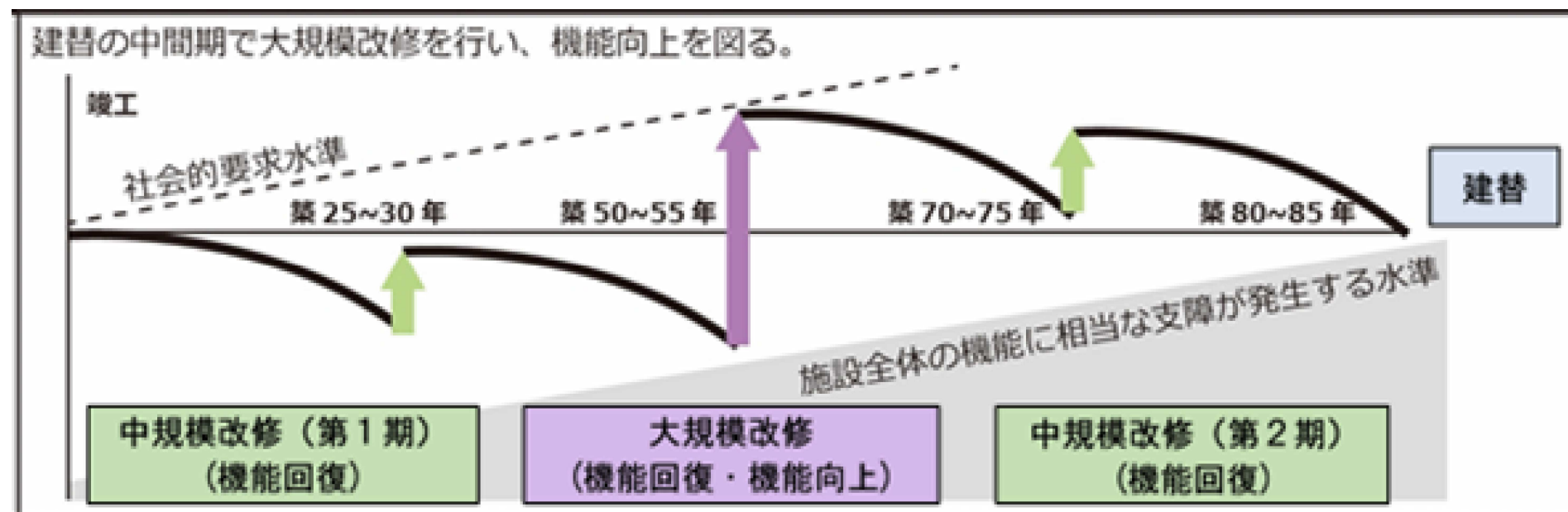
築40年以上 (47%)

築年数別整備状況

3 学校施設の現状

(2) 老朽化対策の推進

岡崎市公共施設等管理総合計画に基づく個別施設計画として「岡崎市小中学校施設長寿命化計画」（令和3年3月）を策定し、改修工事（中規模・大規模）を計画的に実施することとしました。



長寿命化のイメージ

3 学校施設の現状

大規模改修工事の内容

【機能回復】

- ・ 外部改修 (屋根、外壁)
- ・ 内部改修 (天井、床、壁、トイレ)
- ・ 設備の更新 (受変電設備、照明、受水槽、消火設備)

【機能向上】

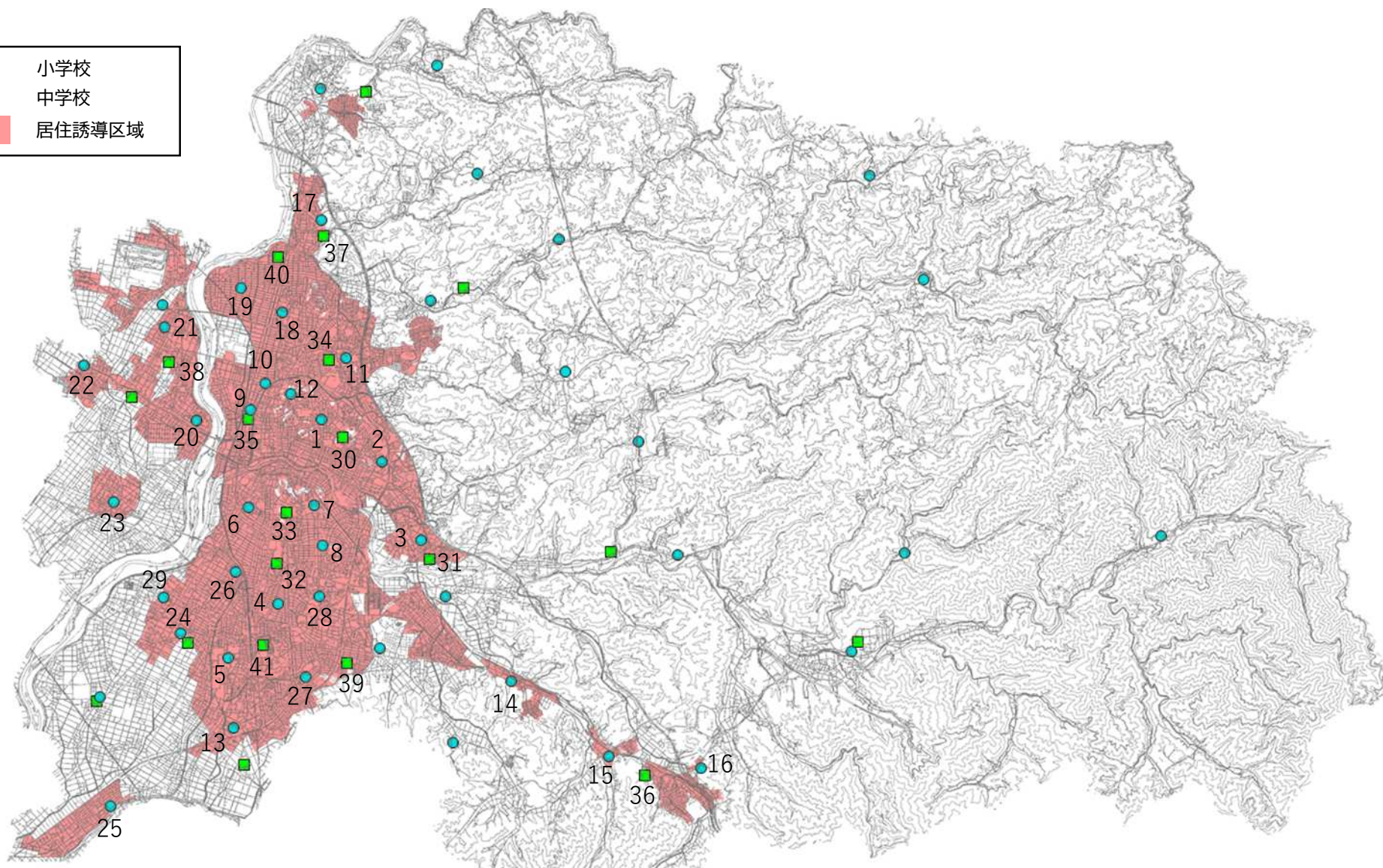
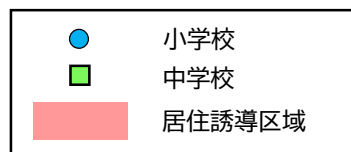
- ・ 社会的要求の対応 (内装木質化、バリアフリー対応)



都市計画決定した学校は、立地適正化計画に「老朽化した都市計画施設の改修に関する事業」を定め、都市計画事業として実施できるようになります。

なお、都市計画学校を行わない学校についても、施設の安全性を確保する必要があるため、居住誘導区域の学校と同様に必要な改修工事を実施します。

4 都市計画決定を行う予定の小中学校



小中学校の位置図

4 都市計画決定を行う予定の小中学校

| 名称 | | 面積 | 名称 | | 面積 |
|----|--------|----------|----|----------|----------|
| 番号 | 学校名 | | 番号 | 学校名 | |
| 1 | 梅園小学校 | 約22,900㎡ | 16 | 本宿小学校 | 約40,600㎡ |
| 2 | 根石小学校 | 約30,200㎡ | 17 | 岩津小学校 | 約22,100㎡ |
| 3 | 男川小学校 | 約21,400㎡ | 18 | 大樹寺小学校 | 約20,100㎡ |
| 4 | 羽根小学校 | 約23,700㎡ | 19 | 大門小学校 | 約23,500㎡ |
| 5 | 岡崎小学校 | 約26,300㎡ | 20 | 矢作東小学校 | 約18,900㎡ |
| 6 | 六名小学校 | 約22,100㎡ | 21 | 矢作北小学校 | 約23,500㎡ |
| 7 | 三島小学校 | 約29,100㎡ | 22 | 矢作西小学校 | 約19,400㎡ |
| 8 | 竜美丘小学校 | 約29,900㎡ | 23 | 矢作南小学校 | 約16,500㎡ |
| 9 | 連尺小学校 | 約26,000㎡ | 24 | 六ツ美北部小学校 | 約22,600㎡ |
| 10 | 広幡小学校 | 約22,700㎡ | 25 | 六ツ美南部小学校 | 約19,800㎡ |
| 11 | 井田小学校 | 約44,700㎡ | 26 | 城南小学校 | 約25,800㎡ |
| 12 | 愛宕小学校 | 約25,900㎡ | 27 | 上地小学校 | 約24,900㎡ |
| 13 | 福岡小学校 | 約31,800㎡ | 28 | 小豆坂小学校 | 約22,300㎡ |
| 14 | 藤川小学校 | 約12,300㎡ | 29 | 六ツ美西部小学校 | 約21,700㎡ |
| 15 | 山中小学校 | 約12,600㎡ | | | |

| 名称 | | 面積 |
|----|--------|----------|
| 番号 | 学校名 | |
| 30 | 甲山中学校 | 約37,600㎡ |
| 31 | 美川中学校 | 約25,900㎡ |
| 32 | 南中学校 | 約26,500㎡ |
| 33 | 竜海中学校 | 約44,800㎡ |
| 34 | 葵中学校 | 約52,900㎡ |
| 35 | 城北中学校 | 約26,900㎡ |
| 36 | 東海中学校 | 約28,500㎡ |
| 37 | 岩津中学校 | 約30,100㎡ |
| 38 | 矢作北中学校 | 約27,100㎡ |
| 39 | 竜南中学校 | 約29,000㎡ |
| 40 | 北中学校 | 約30,500㎡ |
| 41 | 翔南中学校 | 約31,600㎡ |

対象施設一覧表

5 今後の予定

| | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------------|----------------------------------------------------------|---------------|
| 都市計画決定 手続き | ●8月19日 説明会 ●11月 案の縦覧 ●2月 市都市計画審議会での審議 ●3月 愛知県知事と協議 | ●4月 都市計画決定の告示 |